

桃園第二小学校おやじの会をご存知ですか？

15年目の桃二おやじたち

「おやじの会って何してるの?」とよく聞かれます。表向きには「子どもたちのための」学校行事や地域活動のサポートをしています。が、「おやじが楽しむための部活動」も盛んです。野球部の「モモジローズ」。ランナーたちの「ラン部」。子どもたちも連れて山へ繰り出す「ヤマ部」。おやじバンドの「中野ROCK 丁目バンド」。「ウマ部」「サケ部」なんてのもありました。

ですが、やはり本筋は「子どもたちのために」。私たちが本領を発揮するのは、何と言っても桃二児童の半数以上が参加するイベント、「学校に泊まる」の企画運営です。昼はスポーツや防災体験、夕食はおやじが腕を振ったカレーを食べ、その後はドキドキの肝試し。そして校庭に張ったテントで仲間たちと一夜を過ごします(当然ながら、子どもたちは興奮してなかなか眠らず、朝まで見回りで気が抜けません)。翌朝、おやじたちは燃え尽き目も虚ろですが、楽しい思い出を作った子どもたちの姿を見ると、疲れも吹き飛びます。ちなみにこのイベントはPTA、同窓会、先生方、消防団、地域の若者たち、その他多くの方々に支えられて成り立っています。小学校は地

域コミュニティの核と言われますが、ここはそれが良い形で保たれている素晴らしい地域だと気付かされます。私たちが微力ながらその一端を担っていきたくと思っています。

最後に、私たちのモットーは「できる者が、できることを」。同じ地域で子どもを育てるというご縁で集まったおやじたちが、基本ゆるく、時に熱く、つねに楽しく、活動をしています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

おやじの会副代表 大月 啓介



「学校に泊まる」



文園児童館

☎ 03-3367-8106

学校地域連携事業① 学校で遊ぼう

日時 7月20日(金)午後2時半～4時15分
場所 桃園第二小学校体育館
内容 集団遊び
対象 小学生



夏休みわくわくタイム

地域のボランティアの方に教えていただきます。
※詳細は、児童館のおたより7・8月号をご覧ください。

■わくわく手芸

日時 7月24日(火)午後2時～4時
内容 地域のこじまさんにかわいしい小物作りを教わる
対象 小学生



■わくわく工作

日時 7月26日(木)午後1時半～3時半
内容 東京工科大学の先生と学生さんに工作を教わる
対象 小学生



■バルーン作りをしよう!

日時 8月29日(水)午後2時～3時
内容 地域の藤本さんにバルーンアートの犬の作り方を教わる
対象 小学生
定員 ①午後2時～2時半 10名程度 ②午後2時半～3時 10名程度

桃二小100周年を祝う会の発足

桃二小は今年開校97周年、三年後の2021年に100周年を迎えます。大きな節目ですので、準備を万端にするべく、昨年より同窓会・学校・町会・PTAの桃二を愛する関係者が集まり、行事内容の打合せを行ない、6月25日(月)に祝う会を立ち上げました。公立学校の周年行事は地域挙げてのものになりますが、地域と学校の100周年を振り返り、これからの100周年を望むものになればと考えています。また、子どもたちへの記念になるものなども用意したいと考えていますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



平成24・25年度PTA会長 萩野 嘉彦

中野区赤十字奉仕団昭和分団 総会 報告

赤十字奉仕団昭和分団は平成29年度まで昭和地区と東中野地区合同の分団でしたが、平成30年度からそれぞれ独立して活動することになりました。分団長は昭一文化会の曾根会長、副分団長は文園町会の田中会長、各町会代表が班長となります。

5月16日(水)には総会を開催し、すべての議案が承認されました。12月3日(月)にはバーナーの使い方講習と炊出し訓練を予定しています。



第68回 社会を明るくする運動 昭和地区行事

「中野東中学生と考えるいじめ問題」

自己の存在と共に他者の存在をありのまま認め、かけがえのない大切なものであると認識することで、いじめや非行のない明るい社会づくりを目指します。

日時 7月14日(土・学校公開日) 1時間目、2時間目
場所 中野区立中野東中学校(旧第三中学校)
内容 1時間目 弁護士による講演
2時間目 グループ別討論、討論結果の発表
対象 2年生、保護者、地域の方



運営委員会だより

運営委員会では、5月8日(火)に総会を行ないました。平成30年度の主な事業は以下のとおりです。なお、役員などの変更はありません。皆さまのご協力、ご参加をよろしくお願いいたします。

- ・「昭和地域ニュース」発行、ホームページ更新
- ・第43回昭和地区まつり
作品展 10月19日(金)～21日(日)
屋外行事 10月21日(日)
- ・第4回ふれあいコンサート
11月18日(日)
- ・グラウンドゴルフ大会
平成31年2月17日(日)



すてっぷサロン

お茶とおしゃべりで楽しいひとときを!
対象: 70歳以上の方
毎月第4木曜日(8月・1月を除く)
参加費: 200円
・7月26日(木)午後1時半～3時半
・9月27日(木)午後1時半～3時半

すてっぷクラブ

囲碁・将棋・麻雀で楽しい時間を!
対象: 65歳以上の方
毎月第2・4月曜日(8月・1月を除く)
参加費: 100円
・7月9日・23日、9月10日・24日
午後1時～4時



参加者募集中!
勇噺連の稽古は、毎週金曜日の午後5時から天神会館2階の和室で行なっています。ぜひ見学にお越しください。

数年前に、葛西神社を見学したことがありました。蔵の中を拝見させていただくと、当時を描いた1枚の絵がありました。そこにはまげを結った大人たちが、数人の子どもたちと膝を突き合わせて、お稽古に励んでいました。地域の中で子どもたちを健やかに育てようという願い、思いは、今も昔も変わりません。

能勢環は、地域の若者たちの素行が荒れないように、教育の一環としてこのお噺子をはじめました。その流れは幕府にも奨励され、やがて江戸周辺にも広がり、各地の代表者を神田明神の將軍上覧祭りに参加させたといわれています。

現代の若者たちがビートミニョックに熱狂するのと変わりはありません。

私たちの演奏しているお噺子は、葛西噺子という種類のものです。前回は少し述べましたが、手元の資料によると、このお噺子は江戸葛西領金町村30鎮守であった香取明神現葛飾区東金町の葛西神社の神主・能勢環のせたまき(まき)が村内の若者に教え、神霊を慰めたものとされています。一説によると、紀州の漁師たちに伝えられていた「和歌の浦噺子」という、大漁の際に船板を打ち鳴らした噺子が葛西方面の漁民たちに伝わり、能勢環がこの和歌の浦噺子と香取明神に伝わる里神楽を融合させて「和歌噺子」として若者たちに教えていったということです。その後、このお噺子は神田をはじめとして関東一円に広く伝播していきます。それまでの神楽と違い、早いビートと多彩な構成で聞かせる葛西噺子は、江戸っ子たちを魅了していきます。このビートが若者たちを虜(とりこ)にしていっていったのでしよう。

子どもたちと共に歩む祭噺子(その二)
勇噺連会長 長吉 秀夫

